2月 金田北中学校 第３学年 学年だより

The Rising Sun Ⅲ

Ｎｏ．１２
令和６年２月１日
文責：増渕　孝行

令和6年がスタートし、早くもひと月が過ぎました。「１月は行く ２月は逃げる ３月は去る」とはよく言ったもので、私立高校入試から始まった１月はあっという間に行ってしまいました。2月に入ると、県立高校入試へ向かうと共に卒業に向けての準備も少しずつ始まり、まさに時が逃げるように過ぎていることを実感していくことと思います。

3年生が登校する日も残すところあと20数日となり、それぞれの学級ではカウントダウンカレンダーが掲示されています。一人ひとり、どことなく巣立ちを意識し始めているような気配を感じます。有終の美を飾り、金田北中の伝統をしっかりと後輩たちに引き継いでいけるよう最後まで気を抜かず、毎日を大切に過ごさせたいと思います。

★ 入 試 情 報 ★

◎特色選抜

１月31日・１日が特色選抜の出願となっておりました。2日（金）の新聞に県立高校特色選抜の出願状況が掲載される予定です。特色選抜の受検に臨む生徒は、面接練習の成果を生かし、進学の目的（志望動機）や高校生活への期待を明確に伝えられるよう頑張ってほしいと思います。

◎一般選抜

２月20日・21日　出願
２月26日・27日　出願変更
３月　６日・　７日　学力検査・面接

【お知らせ】

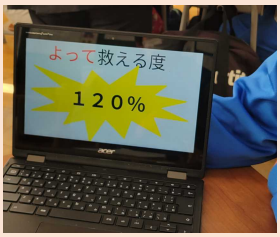
２月９日（金）に最後の確認テストを行います。入試本番は各自の時計を持ち込んで時間を確認することになっています。今回のテストでは、本番を想定して、教室の時計に目隠しをして実施します。そのため、本番で使用する時計を持たせてください。なお、持ち込める時計は、時計機能のみの物となっております。

【社会科の授業より】

１月25日（木）に研究授業、29日（月）に訪問授業がありました。

田母神教諭が JICA の研修でラオスを訪問したことをきっかけに、「持続可能な社会に向けて」の単元と関連付け、「昆虫食は地球の危機を救えるか」という単元を貫く問いで学習を進めていました。25日には3クラス同時に、ラオスで活動を行っている特定非営利活動法人ISAPH（アイサップ）石塚さんとリモートでつなぎ、生でラオスの現状や昆虫食に関する取り組みの話を伺いました。

単元を通して学んだことをグループでまとめ発表を行いました。グループごとに（地球の危機を）救える度が違い、昆虫食について多面的・多角的な視点で捉え、自分たちの考えをまとめていました。JICA 関係者、大田原市情報企画監からも、高いレベルの思考と話合い活動への取組みを褒めていただきました。



【奨学金のお知らせ】

◎希望する奨学金制度がございましたら、担任まで御相談ください。募集要項や必要書類をお渡しします。応募に必要な提出書類には期日を要する書類もございますので、期限にゆとりをもって御相談ください。

●大田原市奨学生

種別：貸与（無利子）
出願資格：大田原市民の被扶養者で、経済的理由によって修学困難な者
学校教育法の規定に基づく高等学校、高等専門学校に進学予定の者
品行が正しく、学業が優れた者（評定平均値が概ね3．0以上）
確実な連帯保証人（2名）を付することができる者
（うち1名は保護者又は後見人、他の1名は別世帯の者）
貸与額：月額 12,000 円（自宅通学）
貸与期間：正規の最短修学年限
募集期間：令和6年2月7日（水）～令和6年3月15日（金）

●公益信託小平グループ交通遺児育英奨学基金

応募資格：交通遺児等である者
栃木県内に居住する者で高等学校、高等専門学校に在学する生徒
経済的理由により修学困難な者
奨学金：年間奨学金　24万円（半年毎12万円）
入学祝い金　5万円
（奨学生に給付された奨学金は返還不要です）
募集人数：若干名
応募締切日：令和6年4月1日（月）～5月24日（金）
※高校進学後に応募できる奨学金です。